

プロジェクト



プロジェクトⅠ

稼いだ金を域外に流出させないための
「地域内資金循環の活性化」

由布市



域外への漏れを少なく！



↓ 域内シフト



域内への循環を大きく！



プロジェクトⅡ

温泉・雄大な自然という地域資源を最大限
活用した「稼ぐ力の増強」

由布市



域外からの稼ぎを強く！



プロジェクトII：「稼ぐ力の増強」

由布市民安心PJ
(デジタル地域通貨導入研究)

滞在型保養温泉地の魅力UP
観光DX活用研究

FAMトリップ・
インフルエンサー活用PJ

顧客への認知度向上
プロモーション力の強化

また来たくなる由布院PJ
(由布院の語り部/人財育成)

由布市まるごと食べちゃおうPJ
(由布院・庄内・挾間をつなぐストーリー)

顧客利便性の向上
インフラ整備による生産性向上

顧客体験価値の向上
稼ぐ力の増強



現状

産業関連データから、大まかな産業ごとの域外流出状況は把握可能。しかし！具体的に、『どの業者が』、『どんな商品を』、『どのくらい』、『なぜ』域外から調達しているのか？といった実態までは把握できない。

プロジェクトI：「地域内資金循環の活性化」

act.3 個別プロジェクトの立案・実行へ ※イメージ

公的データ+行員ヒアリング⇒「リアルデータ化」

- ①「土産用品」における域外仕入の実態が明らかに！
- ②「土産品域内循環PJ」を立上げ、「共感者づくり」+「共感者による解決方法の模索を行った。」
- ⇒A社が土産品の開発・製造・・・個社での新事業進出
- ⇒数社で新会社設立し、共同開発・製造・・・地域での新事業進出



③「野菜類」における域外仕入の実態が明らかに！

- ④「野菜類域内循環PJ」を立上げ、「共感者づくり」+「共感者による解決方法の模索を行った。」
- ⇒建設業B社が野菜類生産に新規参入・・・個社での新領域進出
- ⇒補助金を活用し、由布市内の野菜生産者と旅館・飲食店をつなぐアプリを開発。由布院温泉と庄内・挾間地区を食でつなぐハブ機能を運営・・・地域での新産業創出

act.1 お客さまアンケートを通じた『域外流出のリアルデータ化』

お取引先	仕入先について	仕入品目	仕入理由
由布ホテル	県外 東京商事	冷凍マグロ	安定供給
	宮崎ミート	豚ハム肉	経済合理性
	福岡商店	野菜類	昔から何となく
(株)由布岳	県内 豊後精肉	牛肉	鮮度
駅前ホテル	県外 大阪総合卸	ハム等	経済合理性
	"	調味料	"
	"	飲料	"
	大分海産	鮮魚全般	鮮度

※企業名は仮称



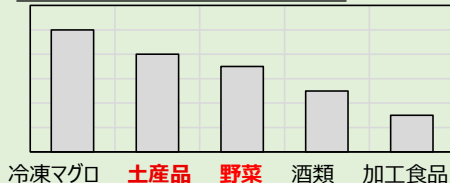
act.2 情報の分析・共有 ※イメージ

<ex1>域外仕入れ理由ランキング

- 1st 昔から何となく
- 2nd 経済合理性
- 3rd 安定供給



<ex2>域外仕入れ金額グラフ



サステナブルな由布市観光 推進協議会

◆由布市	市長	相馬 尊重 (オブザーバー)
◆由布市商工会	会長	利光 直人
◆由布市まちづくり観光局	代表理事	桑野 和泉
◆由布市まちづくり観光局	事務局長	生野 敬嗣
◆大分銀行小野屋支店・挾間支店	支店長	田中 成人
◆大分銀行湯布院支店	支店長	大島 俊之

DX部会

デジタル地域通貨導入研究事業
観光DX・デジタルクーポンの地域内周遊ルートでの活用研究事業

語り部部会

由布院の歴史・誇り・愛着を語り継ぐ次世代人材育成→若手経営者や後継者による「由布院第4世代塾の開講」

食と観光部会

由布院温泉で使用される食材の庄内・挾間地区での供給域内食材のストーリー化、由布院から庄内・挾間へ誘客（魅力的な商品）